

代表質問(要旨)

新たな地球温暖化防止行動計画はメリハリのあるわかりやすい計画に

今一男議員(民主) 県では、新たな地球温暖化防止行動計画の策定作業を行っているが、実効性のあるものとすべき。また、県民の幅広い理解と協力も不可欠である。新たな計画はどのようなものとしていくのか。

知事 県民総ぐるみを基本方針に、特定のテーマに基づく実践活動を促す施策やCO2大規模排出源対策、バイオマス・風力といった再生可能

エネルギーの普及促進を重点プロジェクトに位置づけるなど、メリハリのあるわかりやすい計画としていきたい。本県の削減目標などについては、今後、国が示す温室効果ガスの国内削減分などを踏まえて、新たな計画に盛り込んでいきたい。

議員 公社などが保有する保有土地対策の実施に伴い、県民の負担を求めることについて、県民への説明をどのように



国内初の外海洋上風力発電所 (写真提供：(株)ウインド・パワー・いばらき)

に行っていくのか。知事 今定例会に提案している予算案とあわせ、保有土地対策の方針、各事業の年度ごとの対策額など、詳細を県

ホームページなどで説明していく。さらに、土地処分実績などの進捗状況を公表し、できるだけ多くの機会をとらえて、説明していきたい。

県北救命救急センターへの支援は医師確保など必要な支援を行い、救急医療体制の整備に努めたい

井手義弘議員(公明) 日製日立総合病院が新たな病棟を建設し、県北地域で初めての救命救急センターを整備すると発表した。県としても救命救急センターの整備や医師確保にできるだけの支援を行い、県北地域の救急医療の充実を図る必要があると考えるが県の支援策は。

知事 国庫補助制度や地域医療再生基金を活用した支援

や、寄附講座を活用した医師の派遣、研修制度の充実・女性医師にとっても働きやすい環境整備など医師確保を図る上で必要な魅力ある病院づくりに向けた取り組みを支援し、県北地域の救急医療体制の整備に努めたい。

議員 ドクターヘリの運航開始から二カ月が経過し、一度も出動要請していない消防本部が半数以上ある。ドクター

ヘリの有効活用をどのように考えているか。また隣県との連携が重要だが、どのように取り組むのか。

知事 ドクターヘリの出動要請に係る検証はもう少し期間と実績が必要である。症例検討会を開催するなど、基地病院と消防本部の連携をさらに強化し、ドクターヘリの有効活用を図る。ドクターヘリの広域的な利用を拡大するため、栃木、群馬、埼玉との四

県で検討会議を設置し協議を進めている。今年度内には協定を締結し、広域的な活用を図りたい。

議員 現在の知事の退職手当は全都道府県で最高額であ

る。今回三割カットしても、知事の退職手当としては高すぎないか。非支給とする選択肢はなかったのか伺う。

知事 退職手当は、責任の重さ、仕事の量など職務内容を総合的に判断する必要がある。退職金については全体的な処遇のあり方の中で検討していくべきで、他県の例も踏まえて判断した。

(ほかに、マル福制度の充実、子宮頸(けい)がん予防ワクチンの公費

助成、日立港区におけるLNG基地計画と自動車輸出入基地としての港湾利用促進なども質問)



日立総合病院新病棟完成イメージ図 (提供：株式会社日立製作所)

県議会を

傍聴しませんか

本会議は、特別の場合を除き、誰でも傍聴できます。傍聴を希望される方は、県議会議事堂の傍聴受付で傍聴券を受け取って入場してください。(傍聴席は三百席で先着順です。)

なお、詳細について知りたい方、また、常任委員会や特別委員会の傍聴の仕方などについて知りたい方は、議会事務局議事課にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

電話 〇二九一三〇一一五六三四 FAX 〇二九一三〇一一五六二九

お知らせ

第3回定例会での代表質問及び一般質問の様子は、議会ホームページの録画中継で常時ご覧になれます。また、質問内容(全文)は、11月中旬ごろホームページの会議録検索システムに掲載予定です。

県議会ホームページ <http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>